

令和 4 年度 墨田区立立花吾孀の森小学校 経営報告書

令和 5 年 3 月 1 5 日

学 校 目 標	身体も心も健康で、思いやりの心を持ち、よく考え学ぶ子供
目 指 す 学 校 像	・子供たちの笑顔のために、教職員が互いに磨き合い、チームとして進んでいく学校
目 指 す 子 供 像	・夢の実現のために目を輝かせて、進んで取り組むことのできる児童
目 指 す 教 師 像	・児童の夢の実現のために学び合い、努力を続ける教師

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施しているか。	A	○毎時間の指導のねらいを明確にし、45 分の中に振り返る場面、考える場面を必ず入れた授業計画を立てて指導を進める。 ○タブレット端末の効果的な活用方法を校内で共有し、各教科の指導に積極的に生かす。 ○タブレット端末や、その他の教材を生かし、全員が確実に取り組むことのできる家庭学習を行うようにする。 ○年間で 35 回の補習の時間を設け、日常の指導の中で振り返り学習を進んで行き基礎・基本の確実な定着を図る。	A	A
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行っているか。	A	○特別支援校内委員会による個別指導計画の作成を行い、全教職員で共有し、各自に対して一性をもった指導を進める。 ○不登校児童に対して、タブレット端末などを効果的に活用し、つながりを切らないようにする。 ○全員面接を 456 年に行い、諸問題に対する研修会も日常的に行い、専門的な知識に基づく指導が行えるようにする。	A	A
	学校は、社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。	A	○全学年で年間複数回ゲストティチャーを招く授業を実施し、人の生き方に触れるような授業を進める。 ○タブレット端末を活用し、それぞれの児童の悩みなどを確実に知ることができるようにする。 ○縦割り活動は、コロナ禍の中で方法を工夫しながら日常の学校生活の中で進める	A	A
	学校は、教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。	A	○経営案を全学級担任、専科教員が作成し、研修会を前期、後期に一回ずつ行い、互いに成果を確認し、学び合う。 ○若手研修会を、夕方の 15 分間の中で継続的に放課後に行う。 ○校内研において 4 つの分科会で一回ずつ、授業力向上のための検証授業を行い、児童の成長を見取る。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや PTA 発行物を通して学校の状況を知ることができた。 ・保健室などに不登校児童が安心して過ごせる場を設けている。この努力を続けてほしい ・参観の中で積極的にタブレット端末を活用していることがよく分かった。 ・一年間を通して、地域に児童の目を向けさせていることを感じた。 ・教師の指導力向上のために、一層の研鑽を積んで欲しい。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	○生活指導連絡会を毎週確実に行う。学校だけではなく、地域、教育委員会とも連携をとり、児童の問題について、組織的に対応する。また、保護者に寄り添った形で問題に共に取り組むようにする。	A	A
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間	A	○自尊感情、有用感を高められるように児童相互に認め合うことのできる場面を、学年、学級、時に全校活動の中で日常的に	A	A

様式 4

等	関係を作るための心の教育を行っているか。		設けるようにする。 ○児童の困り感、抱える問題に気づくことができるように教員から児童に言葉かけをするように努める。		
	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	○月に一回の校内点検だけではなく、日常的に児童の目線で校舎内外を見、問題点に迅速に対応する。	A	A
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	A	○全校児童に対しての各種アンケートを随時行い、児童の抱える問題を早期に見いだすことができるようにする。 ○助け合いの心、ボランティア精神を高めるために、たてわり活動を行っていく。 ○COO00 やロイロノートを活用し、保護者からの声も、適切なタイミングで確実に得られるようにする。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で児童のふれあいが続けられるように努力をしている。(休み時間、たてわり班など) ・端末を使つての保護者のやりとりと同時に、電話や連絡帳でのやりとりも大事にしてほしい。 ・一人一人の児童に向き合い、情報を共有し学校全体で対応していることがよく分かった。 		
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行っているか。	A	○経営方針を具体的に示し、それをもとに全員の自己申告面談を行い、学級専科経営案を作成する。内容を校内で共有し、定期的にふり返りを行う。	A	A
	学校は、子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行っているか。	A	○年に 3 回の学校運営連絡協議会を行い、地域の声を聞きながら、改善点があれば年度途中であっても良い方向に軌道修正をする。 ○学校の状況をお便り、ホームページ等で発信し、家庭からの評価も適切に行えるようにする。	A	A
	学校には、適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整えているか。	A	○時代の変化、地域からの要請等にアンテナを張り、よりよい教育活動を進めることができるようにする。教育委員会、近隣幼保小中学校との連携も取り、参考にしながらより適切な教育活動を進められるようにする。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の活動も再開され、児童の居場所が増えたことは喜ばしい。 ・服務事故防止のために研修を確実に行ってほしい。 ・お便りやホームページで校内の様子を知ることができた。教職員との懇談、交流の場が増えれば、さらに安心できる。 		

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行っているか。	B	○ホームページを毎日更新し、一ヶ月あたりの閲覧数も 5000 回を超えるようにする。また、学年、学校からの配布物も、読み手が納得できるような内容になるように工夫する。	B	A
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行っているか。	A	○開校 15 周年の各種プログラムを、地域愛を育てることを共通のめあてとして各学年、地域の方をゲストティチャーとして招くことや、地域に教材を見つけることを積極的に行う。	A	A
	学校関係者評価委員会の意見等		<ul style="list-style-type: none"> ・15 周年記念事業や校内研で、地域の教材を扱う努力をしていた。さらにこの地域を大切にしてほしい。 ・低学年の生活科でむかし遊びの交流を進めることができた。地域も学校に協力しようとしている。このような活動をさらに広げ、続けてほしい。 ・ホームページに各学年のページを設けるなどの工夫があると良い。 		

様式 4

2 令和 4 年度学校評価のまとめ

- ①年々学力が向上し、児童の学習意欲が高まっていることは学校の努力の成果だ。さらにこの努力を継続してほしい。
- ②児童の様子について、日々校内で情報を共有し、課題があった場合に対応をしている。この努力を継続してほしい。
- ③開校 15 周年を機に、地域や第一吾嬭小、立花小について児童の目を向けさせたことは良かった。
- ④タブレット端末などの ICT 機器だけではなく、従来のノートなどの活用も大切にしながら、児童が自信をもって自分の意見や考えを交流させられるようにしてほしい。
- ⑤すべての児童が、その状況に応じて適切な指導が受けられるようにしてほしい。
- ⑥事故やいじめなど防ぐ研修会や意識を高める取り組みを行い、教員の資質向上に努めてほしい。

以上の通り報告いたします。

墨田区立立花吾嬭の森小学校 校長 向井 一郎

公印